

部会名	計画策定専門部会（事務局：障害施策推進課企画相談係）
部会の目的	「第 4 次堺市障害者長期計画」（平成 27 年 3 月策定）及び「第 6 期堺市障害福祉計画・第 2 期堺市障害児福祉計画」（令和 3 年 3 月策定）が、それぞれ令和 6 年 3 月末に終期を迎えるため、それらにかわる計画（以下「次期障害者計画」という。）の策定に向けて、専門的に議論を行うために設置。
開催日時 及び 議事概要	<p>【第 1 回】 令和 4 年 10 月 19 日（水）</p> <p><u>1）次期障害者計画の策定に向けた検討の進め方について</u></p> <p><u>2）第 6 期障害福祉計画・第 2 期障害児福祉計画の進捗状況について</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 次期障害者計画について、長期計画と福祉計画を一体的に策定することには賛成であるが、両計画の策定主旨をふまえ、その違いも明確にしてほしい ・ 障害者権利条約への対日審査の内容もふまえ、議論を進めていく必要がある ・ 従来福祉計画では議論の内容が狭くなってしまうが、長期計画と一体的に議論することで、これまで以上に具体的な議論が期待できる ・ 近く報告がある「障害者等実態調査」の結果もふまえ、潜在的なニーズがあることを念頭に置いて、障害福祉サービス等の見込量を算出していくべき ・ 移動支援等の外出系サービスの実績が軒並み見込量に達していない。このことから、コロナ禍が障害者を家に閉じ込め、また楽しみを奪ったことが分かる。コロナ禍で見せた課題は、長期計画に盛り込んでほしい ・ 「地域生活支援拠点等」について、当事者やその家族等を含め、その制度を知らない人が多く、その周知が不足していることが問題。また、形式的な整備にとどまっており、「親亡き後」の体制として、まだまだ有機的に機能していない。今後、そのあり方について議論を進めていくべき
開催日時 及び 議事概要	<p>【第 2 回】 令和 5 年 1 月 19 日（木）</p> <p><u>1）障害者等実態調査速報版について</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 調査結果を受けて、そのすべてが改善していくことが理想ではあるが、現実として、堺市がどこに力を入れていくのかを議論していくべきであり、それを次期障害者計画に盛り込んでいくことになるのではないかと ・ 障害所管部局だけでなく、広く関係部局や教育委員会等とも、この調査結果を共有すべき ・ 障害者手帳所持者だけでなく、難病に関する項目も分かるようにしてほしい ・ 防災に関する項目への評価が低い。地域との交流や情報のとりやすさとも関係するところであり、今後考えていく必要がある

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「必要な支援、サービス」に関する質問で、「自分のことを理解し、継続的に関わってくれる人の確保」、「身近な地域において困った時に気軽に相談できる体制の整備」の2つの回答が多かったとの説明があったが、このことから、堺市の障害者の相談支援体制が問われているところと言え、今後注力すべき項目ではないか <p>2) 次期障害者計画策定に向けて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 長期計画は、注力すべき項目やその方針・姿勢を盛り込むものであり、それが決まっていくなかで、具体的な方策等が福祉計画に掲載されるものであると理解している ・ 地域移行だけでなく、地域生活の継続支援も含めていくべき ・ 相談支援体制については、専門部会も設置されており、長期計画にも掲載されるべきものではないか ・ 人材の育成に関する項目も必要である ・ 基本理念について、現行の計画を継承するのか。もう少し具体的に分かるような内容に変えてもよいのではないか ・ 計画策定を通じて、暮らしやすい社会となるように取り組んでいくことが重要。各委員のご意見をふまえて、次期障害者計画を策定していきたい
<p>今後の 方向性等</p>	<p>令和5年5月～令和5年10月頃まで継続審議（計5回程度開催） 令和5年11月頃～12月頃 計画案作成 令和5年12月頃～令和6年1月頃 パブリックコメント実施 令和6年3月 次期障害者計画策定</p> <p>なお、令和5年1月（第2回専門部会開催）時点での次期障害者計画の「目次構成素案（たたき台）」としては、 「計画の策定にあたって」、「第5次障害者長期計画」、「第7期障害福祉計画」、「第2期障害児福祉計画」、「計画の推進と進捗管理」の5部構成としている。</p>